

# ジャスティン株式会社



## 企業概要

代表者 / 代表取締役 種田 宗司  
業 種 / 製造業  
設 立 / 昭和 35 年 3 月 11 日  
所在地 / 愛媛県四国中央市川之江町 3125-3  
連絡先 / 0896-58-4455



## SDGs 達成に向けた取り組み①

### 「Seal Demand Gateways」推進 事業活動の国内・海外展開による環境負荷低減



ジャスティン株式会社は、令和 2 年に継続的に取り組んできた SDGs 事業を取りまとめた「SDGs 宣言」を掲げました。令和 3 年に SDGs の更なる推進のために、

「Seal Demand Gateways (= SDGs) になる」

というスローガンを掲げ、HP にも掲載し社内外に発信しました。これは当社が創業来、製造・販売しているパッキン・ガスケットという気体や液体の漏れを防ぐ Seal 材が、地球環境を守る上で積極的な役割を果たしていることを認識し、さらにこれまでの事業活動に加え「地球環境」に対する環境負荷の軽減と「地球環境保全」の継続的実現の目標に向けて、全社を挙げて日々の事業活動を推進するという、当社の SDGs への貢献をわかりやすくスローガンにしたものです。

パッキン・ガスケットの破損による漏れは、お客様の製造ラインを止めてしまうだけでなく、環境にも負荷をかけてしまうため、一刻も早い対応が要求されます。そこで当社では、緊急時でも対応可能な加工システムと配送システムを構築し、最短 15 分での製造を可能にすることで、17 時までの注文であれば即日発送ができるようにしました。これらの技術は、「えひめが誇るスゴ技」として認定を受けています。

また、環境負荷の軽減に貢献できる製品を他社と共同開発しています。不織布・フィルムなどの加工ラインで使われる蛇行修正装置は、メンテナンスフリーで長寿命、高品質・高性能です。超合金製カッターは、硬度や機械強度に優れ、長寿命化・高速生産を得意としています。ともに技術力により、環境負荷を軽減する機械であり、当社はこうした機械装置を国内だけでなく海外にも販売しています。

こうした当社の事業を幅広く知ってもらうため、今年度 HP を刷新、動画も作成し、より幅広いお客様に当社の製品をお届けすることができるように情報発信を強化しました。

現在、国内に 14 の拠点を持ち、3 つのグループ会社と連携して全国のお客様に対応していますが、海外拠点はまだ 1 社であります。中長期的に海外拠点を増やし、世界中のお客様に対して迅速に対応できる当社の体制を活用し、環境負荷の低減を図ることで、SDGs に貢献します。



## SDGs 達成に向けた取り組み②

### For Sustainable, Be Sustainable みんなで幸せになれるジャスティンという環境づくり



海外展開の第一歩として、令和 3 年度は「外国人材の採用活動強化」に取り組みました。外国人材の採用は、海外で事業拡大するという側面だけでなく、平等で働き甲斐のある職場づくりにも貢献します。当社では、女性の活躍推進、男性の育休取得推進、有給休暇の取得推進、といった取り組みをトップ主導で進めています。

女性の管理職への登用には、30 年以上前から取り組んでおり、管理職にしめる女性比率が高まりました。(課長以上 24%、係長 15%、主任 27%)  
営業職の女性も増え、5 名となりました。

男性の育休取得は、令和 3 年 6 月に第 1 号が誕生。これは対象者 1 名中 1 名で達成率 100%です。11 月には、男性育休を行動計画の一つに掲げた「えひめ仕事と家庭両立応援ゴールド企業」の認証も受けました。12 月には社長が全社会議で、こうした実績や、社の方針を発表し、男性の育休取得を奨励するなど、更に取得しやすい環境を整えています。

また、当社には「みんなで一緒に幸せになろうや」というスローガンがあります。ジャスティンという場を通じて、皆が幸せになれるような環境づくりを目指しています。当社では、その幸せの一つを個人の「成長」だと考え、一人一人が成長できるキャリアプランを作成、必要な経験を積むための人事異動を実施しています。業務以外でも教育体制を充実させており、外部研修への参加に加え、毎月のレポート課題もその一つです。新しい本を読む。偉人について調べたり、時事問題について考える。テーマは様々で、人間を大きく成長させる土台をしっかりと作っています。令和 3 年度は 35 名が外部研修に参加、SDGs に関することなど 1 年を通じて課題レポートを提出しました。

そして令和 2 年の健康づくり推進宣言以来取り組んできた、健康推進のための取り組みにより、令和 3 年度、健康経営優良法人の認定を受けました。

当社は、ステークホルダーが当社とかわったことにより得られる幸せの総量が、当社の存在価値であると定義しています。ステークホルダーには、従業員はもちろん、その家族や地域住民も含まれます。当社の価値観や取り組みを従業員の家族や地域住民にも知ってもらうため、令和 3 年度は HP を刷新、ダイバーシティ座談会という形で、社員本人が感じていることを発信。また、災害への備えとして飲料・食料の備蓄を行い、従業員とその家族はもとより、地域住民の避難所として活用していただくことを見据えています。こうした取り組みにより、従業員や家族、そして地域住民の方に安心して生活していただける環境づくりを行っています。



ダイバーシティ座談会



全社会議